

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2021年7月15日

スリランカ購買担当者景気指数 (PMI) - 2021年6月

6月 PMI は製造業・サービス業ともに回復

2021年6月、製造業は COVID-19 パンデミック第三波の影響からわずかに回復。製造業 PMI は 50.4 となり、前月から 8.3 ポイント上昇、新規受注の力強い回復による。前月比では、サプライヤー納期を除くすべての指標が上昇。

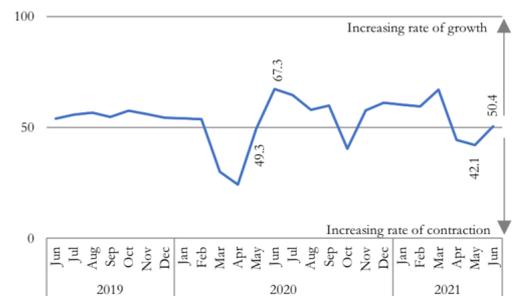
新規受注は、特に食品・飲料製造業で大幅に増加。同セクターの生産、雇用、購買在庫の各指標は前月比で上昇したが、パンデミック第三波の影響からニュートラルのレベルを下回ったまま。一方、繊維・アパレル製造業では、新規受注、雇用、購買在庫が減少、6月は悪化した。

Manufacturing
PMI
Index Value

50.4

Increase of
8.3 index points
compared to
May 2021

PMI - Manufacturing



Source: Central Bank of Sri Lanka

指標	5月	6月	+/-	概要
PMI	42.1	50.4	-	下落から上昇
PMI サブ指標				
新規受注	42.4	52.1	-	下落から上昇
生産	27.9	43.2	-	緩やかに縮小
雇用	38.4	45.8	-	緩やかに縮小
購買在庫	36.0	45.3	-	緩やかに縮小
サプライヤー納期	73.8	68.9	-	緩やかに延期

世界概況：製造業 PMI

2021年6月のグローバルでの製造業 PMI は、前月比 0.5 ポイント低下の 55.5 を記録。

製造業 PMI の上昇率は、EU が高く、米国は前月と同程度だったが、英国と中国は鈍化。一方、インドとロシアは悪化。

出展：Markit1 (2021年7月14日)

2021年6月のサプライヤー納期は、国内移動制限の緩和もあり、引き続き緩やかなペースで長くなっている。しかし、海外の支払いや輸入信用状の発行が遅れているとの回答が多く、また輸出関係者からは、空コンテナの供給不足に加え船腹の確保が困難な状況が続いているとの声が聞かれた。

コロナワクチン接種の西部州を中心とした急速な全国展開、移動制限の緩和などを背景に、経済活動正常化への見通しから今後3か月間の製造業活動への期待は大幅に上昇。

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

2021年6月のサービス業PMIは51.3となり、2か月連続で低下していた指数が上昇に転じた。主に移動制限緩和による活動への期待の高まりによる。

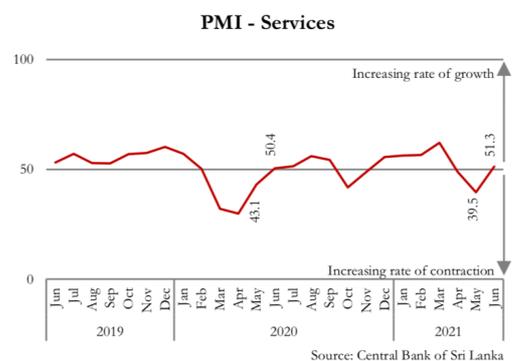
新規事業は2021年5月に比べ改善、特に教育と金融サービスのサブセクターで改善が見られた。しかし、卸売・小売業、宿泊業、飲食業、その他個人的活動の各サブセクターでは低下。

ビジネス活動は、月後半の移動規制緩和により改善。これに伴い、保険業、教育業、専門サービス業、運輸業などのサブセクターが改善。一方、パンデミック第三波拡大により裁量品やサービスへの需要が減少し、卸売・小売業、その他個人的活動、宿泊施設、飲食業、不動産業の各サブセクターは引き続き低下。

雇用者数は、新規採用の停止、退職者や辞職者が出たことから、減少ペースは鈍化したものの引き続き減少。

全国での移動制限の延長や地域的なロックダウンなどにより、業務の対流がさらに増加。

指標	5月	6月	+/-	概要
PMI	39.5	51.3	-	下落から上昇
PMI サブ指標				
新規ビジネス	36.3	49.0	-	緩やかに下落
ビジネス活動	28.9	49.0	-	緩やかに下落
雇用	32.8	46.1	-	緩やかに下落
業務滞留	60.9	54.2	-	緩やかに上昇
事業活動への期待	38.6	58.3	-	下落から上昇



世界概況：サービス業PMI

2021年6月の世界のサービス業PMIは、前月の59.6から57.5に低下したが、世界のサービス活動のさらなる拡大を示した。

2021年6月のサービス業PMIは、米国、中国、英国は前月比で拡大したが、インドと日本が悪化。

出展：Markit1 (2021年7月14日)

今後3か月間のビジネス活動への期待は、5月に比べ回復。移動規制緩和により前向きなセンチメントが強まったが、一部回答者は輸入規制への懸念を示した。